



六華の心

酒田市立第六中学校
学校便り 第28号
令和5年2月20日

保護者の皆様の声を学校経営の改善に

下の表は、保護者の皆様からご協力いただいた「学校評価アンケート」の評価結果を学年ごと及び全体の集計と、昨年度と比較したものです。A（よく当てはまる）を100、B（まあまあ当てはまる）を70、C（あまり当てはまらない）を40、D（当てはまらない）を0で算出した数字の平均点です。

項目	1年	2年	3年	全校	R3
1. 学校は一人一人の学力の向上に力を注いでいる。	61	65	60	64	64
2. 学校行事は楽しく充実したものになっている。	71	73	75	75	71
3. 学校は思いやりを大切にし、いじめ防止に力を注いでいる。	59	68	57	65	66
4. 学校は便利やホームページ等で学校や生徒の情報を適切に伝えている。	66	77	71	73	76
5. 六中생はあいさつや礼儀がきちんとしている。	63	73	58	67	70
6. 六中생は決まりをきちんと守って生活している。	66	71	61	68	70
7. 教職員はお子さんの良さをよく理解し、悩みや相談に適切に応じている。	61	69	65	68	68
8. 教職員は改善すべき点に対してきちんと指導している。	63	72	60	69	69
9. 教職員は保護者の方からの問い合わせや要望に丁寧に対応している。	61	74	67	74	76
10. お子さんの学校生活は充実している。	69	71	76	73	73
11. お子さんは情報機器（携帯、パソコン、ゲーム機など）をけじめをもって使用している。	49	46	54	50	54
12. お子さんは部活動や習いごとに積極的に取り組んでいる。	71	76	71	73	75
13. お子さんは家庭学習に計画的に取り組んでいる。	51	53	56	54	59

回収率は82.8%でした。昨年度は54.1%でしたので、より多くの保護者の皆様が声を寄せて下さったことに感謝でいっぱいです。提出にご協力いただき、ありがとうございました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対応のための様々な制限の中での学校生活となりました。従来通りとはいかないことも多く、生徒や保護者の皆様に我慢をお願いしたり、様々な変更への理解・協力を得たりしななければならない場面も多く、心苦しく思っています。

いただいた声を集約すると、昨年度と比較し13項目中、8項目で若干の下降傾向がありました。特に下降幅が大きく、また数字も低くなっているのが「11. メディアコントロール」「12. 家庭学習」の2項目です。その対応として考えていることについては後記しましたが、この2項目については他の項目以上にご家庭、保護者の皆様のご協力なしにはかなえられないものと考えます。今後もご家庭との情報共有を図り、共同歩調で指導・支援ができる体制づくりに努めていきたいと考えます。

貴重なご意見もたくさんいただきました。主なご意見、要望について、学校としての対応、次年度に向けての改善策等を紙面にまとめさせていただきました。教職員の振り返り、今後集約される年度末の子どもたちの振り返りも合わせながら、改善志向で取り組んで参ります。今後とも本校の教育活動に対するご理解とご支援を改めてお願いいたします。

【いただいたご意見・要望から】

同様の要望はまとめさせていただきました。個別のこと、個人的なことは割愛させていただきました。

《授業・学習について》

- ①授業で分からないところを個別に教えていただけるとありがたい。
- ②子どもの学年のテストの平均点の低さが気になる。学力面にもっと力を入れてほしい。
- ③タブレットなども加わり、通学バッグの重さが気になる。何らかの対応をしていただけないか。
- ④テストで、まだ学習していない範囲から出題されたと聞きました。テストの趣旨として問題ないのであればいいのであればいいのですが…
- ⑤今、流行なのかもしれないが、生徒同士で教え合いの学習は受験生である3年生には向かないと思う。

- ① ②→1年生の数学では少人数指導、英語ではTTの授業に取り組み、つまりいている生徒、質問がある生徒には授業の中で個別に対応するよう努めています。また、生徒同士の学び合いの中で、考えを深め合ったり、教え合ったりするために小グループの学習も意図的に取り入れています。質問があれば、休み時間、放課後など、いつでも質問に答えるように努力しておりますが、支援の時間の確保、支援方法を改善する必要があることは認識しております。次年度に向けて、従来の六中スタイル（宿題→点検→居残り）の見直し、改善を進めています。
- ③→家庭学習で必要な教科書・教材を自分で判断し、それ以外の物は持ち帰らなくてもよいとします。
- ④→テスト範囲以外でも、既習事項やそれを用いて解答できる内容（応用力・思考力を問う）であれば出題もあり得ます。作成したテストは教科内で確認し、生徒に不利にならないよう配慮するとともに、範囲に変更等が生じた場合は、確実に伝えるよう努めます。
- ⑤→従来の一斉授業にも、小グループ等を活用した学び合いの学習にもそれぞれの良さがあると考えます。学び合いの良さは、他者に自分の考えを伝え、多様な考えに触れることで思考力や判断力、表現力を身に付け、自分の考え方や知識・技能も更新されることです。また、分からないことを教え合うことで基礎基本も定着する効果があります。学習形態にこだわるのではなく、授業のねらい、内容、時期等を考慮しながら、授業形態を工夫してまいります。

《学校生活・ルール・マナー・教師の対応等について》

- ①「気持ちの良いあいさつをしてくれる生徒が多い」、「挨拶がよく、良い感じの明るい生徒が多い」等、挨拶についてはお褒め頂く意見を多数いただきました。一方、「部活動時の保護者への挨拶」、「郊外での挨拶」に課題があり指導をして欲しいとの声もありました。
- ②暑さや寒さに応じて体育着や制服を自由に着られるようにして欲しい。
- ③掲示されている写真の紛失等については、事実をはっきりさせ、指導をして欲しい。
- ④以下のような点で、教師の対応を改善していただきたい。
 - ・勇気を出して分からないところを聞きに行ったが、その際の教師の言葉がけに不適切と思われることがあったと聞いた。
 - ・威圧感が強く、子どもが伸び伸びと過ごせないような教師の対応がある。子どもの気持ちを汲まず、一方的に押し付けてくることもあるようだ。
 - ・子どもの話ですが、一度の失敗を捉え、この子はこういう子と決めつけた対応をされています。

- ①→地域の方からも、「六中生の挨拶に元気をもらっている」等、お褒めの言葉をいただくことが多くありました。今後も生徒会の取り組みを生かし、PTA活動との連携を図ったり、学級や部活動でも自分たちの挨拶について振り返ったり、考える場を大切にして「場に応じて、明るい爽やかな挨拶ができる六中生」を育ててまいります。我々教職員も、生徒に負けないように頑張ります。
- ②→夏季についてはスーパークールビズ期間を設定し対応をしています。生徒会の取り組みもあり、女子のスラックスが導入されました。今後とも生徒、保護者の皆様の意見もお聞きし、生徒の健康を第一に考え、検討してまいります。また、個別の事情への配慮を欠かさないようにしてまいります。
- ③→該当学年では、子ども達から情報を聞き取ったり、心当たりのある人に名乗り出るよう促したり、学年協議会による集会なども実施しましたが、事実関係は不明です。継続して指導は続けながらも、同時に「失敗を通から学び、善悪の判断力を育み、繰り返さない個、集団」を育てることができるよう努めてまいります。
- ④→生徒への対応（言葉がけ、態度等）については、これまでも研修、確認を行ってきましたが、上記のような思いをする場面があったこと、大変申し訳ございません。今後一層、教職員間での研修、確認を大切にすると同時に、不適切と感じた時にはお互いに指摘し合い、話し合い、改善できる教職員集団を目指してまいります。

《行事・生徒会・部活動について》

- ① 運動会はそのまま縦割りで、応援ありでお願いします。
 - ② 修学旅行は、学校主導ではなく生徒たちからも行先や体験したいことの意見を聞いていただきたい。
- ① → 運動会は来年度も縦割りで進めたいと考えています。今年度は一部種目を子どもたちが考え、準備、運営も多くの部分を子どもにゆだねる形で進めました。来年度以降も「子どもたちが自分たちで創っていく」運動会を目指し、六中運動会の良さを継承しながらも、行事を通して子どもたちの主体性を育てていきたいと考えます。また、行事についていただいたご意見は校内の各行事の実行委員会で前向きに検討していきます。
- ② → 修学旅行については、様々なご意見があることは認識しています。但し、学校行事である以上、その行事を通して身につけさせたい力を鑑み、その行先等については学校側が主体的に決定するものです。特に、この3年間はコロナウイルス感染症の先行きも見えない中、実現の可能性も考慮しながら、3年前に、「3年間は行先を沖縄」とした経緯がありますことにご理解いただきたいと考えます。生徒や保護者の声を聞くことについては善処するとともに、今後、その扱い方も含めて検討してまいります。

《情報伝達について》

- ① クラスによっておたよりの差が大きい。クラスの様子がよくわからない。
 - ② ホームページの更新を小まめにしたい。
- ① → 学校だより「六華の心」、学年・学級だより、生徒指導便り「さかろく」等で生徒の様子をお知らせしてまいりましたが、ご期待に答えきれなかったところについては、今後検討し改善してまいります。学級通信については、一律に発行数を揃えることはできませんが、一人一台端末の活用を図るなど、ご家庭に学級の様子が伝わる工夫について検討していきます。
- ② ホームページについては定期的な更新を心がけるとともに、内容についても検討していきます。

《うれしいお話》

- 部活動の先生方、先輩方から励みになる言葉をたくさんかけていただき、小学校では見られなかったやる気を見せるようになっていきます。友達もたくさんできて、担任の先生の温かな学級経営にも感謝申し上げます。
- 多感な時期で難しい子どもを担任の先生がよくみてくれ、指導してくれたり、家庭からの要望にも応えてもらってありがたい。六中に入學してよかった。中学に入って子どもがすごく成長したと感じています。
- 運動会や合唱コンクール等の大きな行事を通して、協力することの大切さや頑張ったからこそ感じられる達成感をみんなで感じているようで、有意義な経験をしてるなあ、青春してるなあ、うれしく思います。先生方のご指導に感謝しています。
- 学校に授業参観などで入ることがあると、生徒たちが挨拶をしてくれ、また、場所を聞いたときに、丁寧に対応してくださってありがたかったです。
- 素直な子どもが多いように感じています。社会で生活していく上で大切な資質で誰でも持ち合わせているものだと思いますので、中学校でも伸ばしてあげたいなあと思います。
- 困っている人に手を差し伸べられることができる、勇気ある行動をとれる生徒。とても素晴らしいと思います。
- 先生から褒めてもらっていることが自覚につながっているようです。六中生として自信を持っているように思えます。
- ※「素直で一生懸命」、「他の学校より穏やかに生活できている」、「良い意味で自由に楽しく生活できている」等の声もいただきました。

六中レベルアップのために、このようなことに力を入れていきます

アンケート項目(1. 学力向上 11. 情報機器使用 13. 家庭学習)に対して…

- ① 一人ひとりがじっくり考え、表現する場を保障し、「わかった」「できた」という充実感をもてる授業づくりに努め、各教科が好きで、主体的に学習に取り組む生徒を育てていきます。子どもたちにつけたい資質・能力を着実に定着させるために有効な学習形態についても検討していきます。そのための教師の研修を充実させ、「授業力」の向上を図ります。更には、キャリア教育、特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）を充実させ、学びの土台となる良好な学級・学年の人間関係作りと、自律した個の育成目指していきます。
また、前述しましたが、次年度に向けて、教科の授業以外にも時間に学びの補充・深化を図るための時間の確保を計画しています。
- ② メディア機器の利用が家庭学習や睡眠時間の確保の阻害要因となっています。メディアコントロールありきではなく、学習時間の確保、家族との団らん、好きなことに取り組む時間、睡眠・休養等をトータルで考え、自ら時間を管理（タイムマネジメント）できる力を育てるために生徒自身が自分事として考える機会を持ち、実行、振り返り、改善するサイクルを意識して支援していきます。その一助として、生徒会による「六中スマホネット利用の約束」を生徒総会で話し合い、実効性のあるものにしていきます。
- ③ 「授業と連動した家庭学習」となるように必要に応じて各教科で課題を出し、終わりの会で「今日の家庭学習で取り組むこと」を個々に考える時間を設定します。出された課題以外にも、酒田市で導入する学習アプリ「CBT for Shcool」の活用を促すなど、自分で計画的に学習に取り組める生徒、自分に合った学習法を身につけられる生徒の育成を目指しながら、授業と家庭学習の双方から学力向上に取り組んでいきます。

アンケート項目(5. あいさつや礼儀 6. 決まり遵守)に対して…

- ① 生徒会やPTAの活動と連携し「爽やかな挨拶ができる六中生」を増やしていきます。また、時と場合、公私の区別を付けた言葉遣いを意識させ、思いやりある行動、感謝の気持ちを持って生活できるようにしていきます。
- ② 普段の生活に小集団での話し合い活動（班会、班長会、学級会：小さな公づくり）を機能させ、特別活動(学級活動・生徒会活動・学校行事)の中で、「自分たちで計画し、実践し、振り返る」課題解決の場面を意図的に設けていきます。

アンケート項目(3. いじめ防止 7.8.9 教職員の対応)に対して…

- ① 道徳教育・特別活動を更に充実させ、いじめの未然防止を進めるとともに、生徒一人ひとりの日常生活から見えてくる人間関係の把握と情報交換を密にし、保護者との連携を図りながら、いじめの早期発見・組織的対応を進めます。
- ② 生徒一人ひとりに寄り添い、家庭との連絡を密にしながら、「自立」に向けた適切な対応や指導・支援に努めていきます。その前提となる生徒、保護者との信頼関係構築のため、心に届く「厳しさの中にも、温かで丁寧な対応・言葉がけ」と、保護者の皆様との報告・連絡・相談（確認）をこれまで以上に丁寧に進めていきます。。

今後も、六中生を、六中を温かく見守っていただき、学校へのご意見・要望などは、随時寄せていただければと思います。よろしくお願いいたします。